

お住まいの地域でのご協力のほか、次の方法でもご寄付を受け付けています

定期的・継続的な寄付をしたい

クレジットカードで



インターネット上で登録手続きが可能で、スマホやPCから後払いいただく、二次元コードから専用ページにアクセスしてください。Web広告からも寄付できます。

銀行口座からの引き落としで



口座振替申込書をご用意しておりますので、下記までご連絡いただき、必要事項をご記入のうえポストにご投函ください。

好きなタイミングで寄付をしたい

スマホアプリで(J-coin Pay)



スマホアプリをダウンロードしてご本人様の情報を入力後、黄金アイコンから寄付できます。

J-coin Pay

お近くの郵便局・銀行で(専用払込取扱票)



こちらの払込取扱票を郵便局・銀行(北洋銀行・北海道銀行)窓口で使用すると手数料がからず寄付できます。

日本赤十字社北海道支部では、故人の尊いご意思にこたえるために遺言によるご寄付(遺贈)、相続財産のご寄付も承っております。

専用の払込取扱票や口座振替申込書のご請求、お問合せはTEL.011-231-7126またはshinkou@hokkaido.jrc.or.jpまでご連絡ください。



クレジットカードの寄付申込はこちら



日本赤十字社公式キャラクター
ご当地 ハートちゃん

表彰制度のご案内

赤十字活動資金に多額のご協力をいただいた場合は、以下のとおり表彰制度を設けております。

顕色有功章

一時的または累計金額が20万円以上50万円未満に達した個人・法人に贈呈いたします。

金色有功章

一時的または累計金額が50万円以上に達した個人・法人に贈呈いたします。

厚生労働大臣感謝状

一時的または一年度内に、個人100万円以上500万円未満、法人300万円以上1,000万円未満のご協力をいただいた場合、国へ送り申請いたします。

樹緑章

一時的または1000万円の申し出により、個人500万円以上、法人1,000万円以上にご協力いただいた場合、北海道庁をとおして国へ送り申請いたします。

社長感謝状

金章有功章を受賞後、新たに50万円以上ご協力いただいた都度、個人・法人に贈呈いたします。

国の表彰

日本赤十字社北海道支部
札幌市中央区北1条西5丁目 TEL.011-231-7126
発行日 令和8年7月



日赤北海道
https://www.jrc.or.jp/chapter/hokkaido/
UD FONT

2026年度版



もっと伝えたい。北海道の赤十字について。

赤十字ほっかいどう



講習100周年 記念イベント開催



わたしたちは、人のいのちと健康、尊厳を守るための知識と技術を広く社会に届けるため、救急法をはじめとする5つの講習を全道各地で普及しています。

令和8年12月に赤十字の講習100周年を迎えるにあたり47都道府県で「赤十字講習100周年 記念キャラバン」がスタートしました。

北海道では5月30日(土)生活協同組合コープさっぽろ協力ののもと、コープさっぽろルーシー店(札幌市白石区)にてイベントを開催し、約110名の方々にご参加いただきました。

赤十字の安全法講習

知識と技術を持つボランティアのみならず、いのちと健康、尊厳を守る赤十字の各種講習を実施しました。

令和7年度の実施状況は以下のとおりです。

- 救急法 258回
応急手当やAEDの使い方、止血・搬送・救急時の対応など
- 水上安全法 60回
泳ぎの基本、水難事故防止、救助・応急手当など水に関する知識と技術
- 雪上安全法 23回
スキー場での事故防止や救助・応急手当の知識と技術
- 健康生活支援講習 28回
高齢者を健やかに過ごすための健康知識や自立の工夫、支援方法
- 幼児安全法 85回
乳幼児の事故防止や病気への対応など、子供を守る知識と技術

〇万が一に備えてあなたも受講しませんか?

講習の詳細について

講習に参加しませんか

大正15(1926)年12月の衛生講習会から100年、社会のニーズに柔軟に対応し講習事業を支えてくださった赤十字ボランティアのみならず、ご協力と、講習を受講されたみなさまによって、やさしい社会を築いていただきました。心より感謝申し上げますとともに、赤十字の講習を多くの方々に広げるため、これからもご支援くださいますようお願いいたします。



赤十字奉仕団の活動

清掃活動や花だんの整備、福祉施設の交流活動、チャリティーバザー、義援金の街頭募金、炊き出し訓練など、さまざまな活動を行っているボランティア(奉仕団)のみならず、あなたのお住まいの地域で活躍中。

陰の力になって、地域を活動の場としています。ぜひ応援してください。



災害に備える活動

感染症の発生や多様化する災害救護活動等において、必要な知識・技術を身につけ災害への対応能力向上を図ることを目的とした各種訓練を実施しました。

また、道内10か所の赤十字病院には常備看護士20名を確保しています。

※看護士は医師1名・看護部長1名・看護士2名・主事2名の計6名を基準としています。



赤十字災害救護訓練

青少年赤十字の活動

仲間と協力



アイデアを出し合う!



みんなの学びが完成!



青少年赤十字は、児童・生徒が赤十字の精神に基づき、日常生活での実践活動を通じて、いのちと健康を大切に、地域社会や世界のために奉仕し、世界の人のびととの友好親善の精神を育成することを目的として、さまざまな活動を学校教育の中で展開しています。

道内3か所で開催されたトレーニング・センターと、札幌市で開催されたスタディー・センターには加盟校の子どもたちが参加し、楽しく学びました。

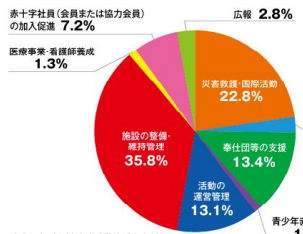


国際活動

190を超える国と地域に広がるネットワークを活かし、紛争や自然災害、感染症等でも苦しむ世界中の人のびとを救う活動を行っています。

道民の支援にあたるシニア赤十字スタッフにSARC ミャンマー赤十字社が配布する飲料水等を受ける子どもにEMRCS

令和7年度社資(活動資金)使途報告



令和7年度 社資(活動資金)実績
533,133,472円
※横軸は小数点以下第3位を四捨五入しているため合計が必ずしも100%とはなりません。



活動資金は奉仕団や青少年赤十字の活動などにも使われている。



令和7年度災害救援物資の道内配置状況 (令和8年3月31日現在)

赤十字災害救援車「博愛号」

江差町 大空町 枝幸町
下川町 えりも町 池田町
天塩町 豊原町 古平町
○全道総配置数236台

赤十字「災害用天幕」

札幌市 長沼町 松前町
蘭越町 共和町 当麻町
美幌市
○全道総配置数276張

赤十字「災害用炊き出し台」

札幌市 余市町 南富良野町
松前町 当麻町 南幌町
○全道総配置数211台